

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月  
結果公表日:2025年3月27日

## 回答率

事業所職員: 6名回答、回答率 100%  
保護者様: 17名回答、回答率 89%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

・訓練室は、学習スペースと運動スペースにわけ、安全性を確保した上で支援に努めている。  
また、昨年度から訓練室に置く物品をさらに減らし、児童の活動スペース確保に努めている。

### ○業務改善

・日々の業務について職員間で分担し、効率よく取り組めるよう努めている。  
・療育参観を10月・2月に実施し、保護者の方からご好評をいただいた。療育内容を保護者に見ていただく機会を設けることが出来ている。

### ○適切な支援の提供

・安全管理対策を行った上で、個々のレベルに合わせた課題を提供している。長期休暇の際には、課外活動や調理活動、他教室と連携した活動プログラムなど様々な経験が積めるよう活動の企画・立案を職員間で話し合い、実施している。

### ○関係機関や保護者との連携

・相談支援事業所等と連携を取り、ご利用者だけではなく保護者への支援に繋げている。  
・送迎時のフィードバックやサービス提供記録、面談等を通じて、ご利用時やご家庭での様子の共有、保護者から困り事やご意見を伺い、保護者と連携していけるよう努めている。

### ○保護者への説明責任等

・毎月のニュースレター配布に加えて、祝日や長期休暇の際には、別途お便りを作成・配布し、保護者へ周知する工夫を行っている。

### ○非常時等の対応

・月一回の避難訓練は、地震・火災・水害・雪害・不審者等様々なケースを想定し実施している。  
・虐待防止の教室研修を定期的に行っている。  
・アレルギー対応が必要な生徒には、提供するおやつや食材の成分表を事前に保護者にお知らせし、安全管理に努めている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

活動スペースについては8割以上の方から十分に確保ができているとの声を頂いた。児童がのびのびと活動できるように、療育グッズや本棚等の配置を再度検討していく。

職員の配置や専門性については7割の方から十分に確保できているとお声をいただいたが、残りは「わからない」「どちらとも言えない」というご意見だった。療育参観や保護者会を通じて、どんな点を改善したのか等の周知を改めて徹底していく必要がある。

### ○適切な支援の提供

9割以上の方から日々の支援や個別課題に関してや、個別支援計画等に則った適切な支援が出来ているとお声をいただいた。引き続きニーズに沿った個別支援計画の作成と日々の支援を行っていききたい。

事業所の活動プログラムが固定化されていないように工夫されているとお声をいただいた一方で、「どちらともいえない」というお声もいただいた。新しい活動プログラムを組んでいき、新たな支援を模索していく必要がある。

### ○保護者への説明等

9割以上の方から児童の様子や発達状況に関して共通理解が出来ている、定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われているというお声をいただいた。その一方で、保護者同士の繋がりを持つ機会が持てなかった、というお声もあったので、改善していく必要がある。

### ○非常時等の対応

事業所での避難訓練等が適切に行われているかという点に関しては8割の方から出来ているというお声をいただいた。毎月事業所では避難訓練を実施しているため周知を引き続き行って行きたい。

### ○満足度

こどもが安心感を持って通所しているとの回答が9割以上を占めており、「毎回とても楽しく通っている」とのご意見もいただいた。今後も関係機関や保護者との連携をさらに深め、よりニーズに合った温かい支援に取り組んでいきたい。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

・バランスボールで遊ぶエリアを定めて視覚的にその場所を示したり、訓練室内のあまり使われていないおもちゃ等を減らし、児童がのびのびと過ごすための環境づくりを行うことが出来た。

### ○改善できた点・まだ残る課題

・療育参観を2回行い、療育内容を保護者に見ていただく機会を設けることが出来た。  
・ブログの更新を行い、保護者へ教室出の様子を伝えることが出来たが、まだ頻度が低いので今後は月に1回の更新を目指して行う。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・個別課題や集団療育で、利用生徒の特性に合った内容の立案や実施が来ている。
- ・長期休み等では科学実験や調理、デリバリー体験など幅広い内容での集団療育を行い子どもの成長に寄与している。
- ・将来の就労を見越して、礼儀やルールを守ることの大切さを教室全体で意識し、規律正しく過ごしている。
- ・ご家庭や関係機関との密な連携をとることでよりよい支援を検討し、支援の満足度につなげることができている。

### ○改善点

- ・ブログの更新を行ったが、定期的な発信に繋がっていないため、月に1度の更新を目指す。
- ・保護者会の開催が出来なかったため、次年度に向けて2回の開催が出来るように計画を組んでいく。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

#### ①支援内容について

- ・活動プログラムが固定化してしまう傾向がある為、職員間にて教室内ミーティングを行ったり、他教室の活動内容を取り入れたりして改善を図っていく。

#### ②開かれた教室運営について

- ・ブログやお便りの配信で積極的な情報発信を行う。保護者や地域の方との交流の機会の創出により、開かれた事業所運営を目指す。

### ○1年間で取り組む具体策

- ①-1 月ごとに担当制で取り入れたい活動を教室内ミーティングにて共有し、活動プログラムの充実を図る。

- ①-2 近隣の公共施設を活用した課外活動を取り入れ、地域との関わりを持つ機会を増やしていく。

- ②-1 ブログ更新を継続して行うことが出来るように、担当を割り振って月に1回のブログ更新を目指す。

- ②-2 療育参観・保護者会を1年間で2回ずつ開催し、支援内容の周知と保護者同士の交流の機会を持つことを目指す。